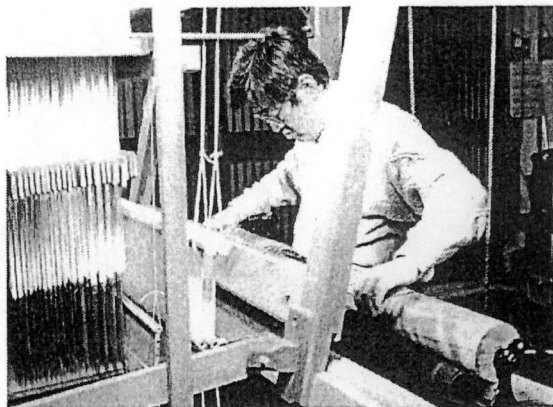


工芸技術記録映画シリーズ

- 27 -

羅 北村武資のわざ

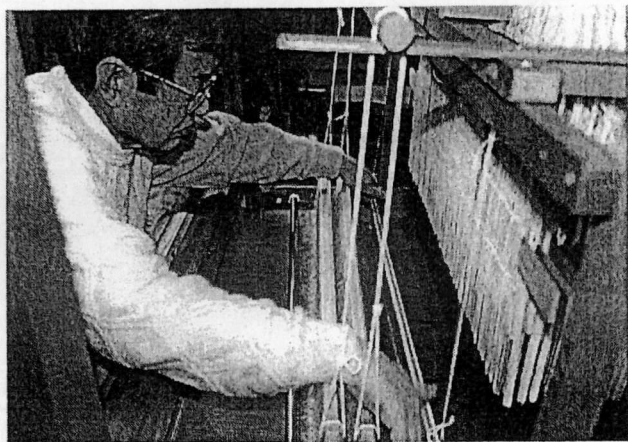
企画 文化庁
製作 日経映像



(カラー・35mm・33分)

京都西陣。織りの伝統が今も生きるこの街に、重要無形文化財「羅」の保持者である北村武資氏がいます。北村氏は、古の織り人達が長い時の流れの中で生み出した「羅」を、現代感覚溢れる織物として生み出そうと試みます。その図案作りから、織り人の意のままに動かすために大切な工程である機拵え、美しき縋れを生み出す振綜（ふるえ）を巧に操りながら進める本織り、そして完成までをカメラは追いかけます。そこで描かれるのは、北村氏の技と織物への想いです。

古の人々が遺した織物、「羅」。その不思議な美しさを生み出せないものか、現代感覚溢れる作品のなかに・・・その想いが作家北村武資のイメージを膨らめます。北村のイメージを表現するために機は慎重に拵えられる。美しき糸の縋れを作り出す振綜が取り付けられ、まるで北村の血が通うかのように、機は動き出す。本織りが始まる。北村は孤独なマラソンランナーのように、同じスピード、同じリズムで、織り続けていく。孔雀の羽を思わせる色彩と軽やかさを持つ作品、「碧地透文羅」の完成。振綜を巧みに操る北村の手技が作り出した美の世界が完成した。



<スタッフ>		撮影	大木 大介
製作	高畦 幸一 佐野 文男	照明	古屋 熱
監督	黒崎 洋一	音楽	山崎 茂之
		語り	佐藤 慶

販売価格 16ミリフィルム ¥230,000(税別) / ビデオ ¥50,000(税別)